

7番 高松秀樹議員

1 夏期の教育環境の整備について

ここ数年、夏期は異常な猛暑になっており、今後も同様の猛暑になることが予想される。文部科学省は、教室の温熱環境の基準について、「夏期では30度C以下であることが望ましい。また、最も望ましい温度は、夏期では25～28度Cである」としている。近年、市内小中学校の各教室においては、午前中から30度を超えると言われている。夏場の劣悪な教育環境の改善が必要と考えるがいかがか。

2 学校給食について

平成22年の3月議会において教育委員会は、「完全米飯給食について、御飯は、食育基本法や学校給食法にうたわれている日本の食文化の中心であり米飯給食の回数をふやすことは非常に重要なことだと考えている。センター方式を検討していく中で、栄養教員、給食調理員などの関係者と協議していきたい。」また、アルマイト食器の変更については、「どうにかしたいといつも感じている。」と答弁しているがどのような協議がなされ今後の具体的な施策についてどのようなお考えがあるのか。

3 議会と行政のあり方について

議会では、議会基本条例制定特別委員会において、議会の新しい仕組みについて議論を重ね、先日の本会議初日に中間報告をいたしました。審議項目の中で「反問権」や「議会の附属機関の設置」「議決事項の追加」「議会事務局の強化」などの執行部と関わりがある部分について市長の所見をお伺いしたい。